

「産業社会と人間」・総合的な探究の時間「羅針」について

学習指導グループ

1. 「産業社会と人間」について

1年次に履修する2単位の科目で、自己や社会について知り、自己の将来の生き方や進路について考えるとともに、将来の職業生活に必要なコミュニケーション能力や知識などを身につけます。

- ① コミュニケーションキャンプ
- ② 産業・職業調べ
- ③ 社会人講話
- ④ 2・3年次の履修計画
- ⑤ オープンキャンパス・学校説明会への参加
- ⑥ 探究活動（パワーポイント利用）

2. 総合的な探究の時間「羅針」について

2年次に2単位、3年次に1単位（前期集中型授業）で履修します。2年次では、「産業社会と人間」の授業で学んだことを踏まえ、進路研究を進めるとともに、自分で設定した課題について研究し、発表する探究活動があります。3年次では、2年次の研究をより深く掘り下げます。プレゼンテーション能力育成のためにも、全員パワーポイントを利用して発表します。

<2年次「羅針」の授業内容>

- ① 進路研究
- ② 外部講師による進路講演会・探究活動講演会
- ③ 3年次の履修科目研究
- ④ 個人設定テーマによる課題研究（探究活動）およびプレゼンテーション、研究報告書の作成

<3年次「羅針」の授業内容>

- ① 個人設定テーマによる課題研究（探究活動）
- ② 研究報告書の作成
- ③ プレゼンテーション

「産業社会と人間」と「羅針」は本校の教育の基盤



産業社会と人間 = 要

扇で例えるならば、各教科の学びは風を起こす「扇面」、各教科・科目等の特質に応じた見方・考え方を横断的・総合的に活用していく場面が「総合的な探究の時間」、つまり本校の「羅針」です。また、扇の「要」が産業社会と人間であり、各教科等の学びの基盤となります。